

.....
コンクリート用混和剤
総合カタログ

1 コンクリート用混和剤

A E 減水剤

種類	品名	主成分	標準使用量または使用量の範囲 (セメント質量に対する%)	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
標準形 I種	チューポールEX20	変性リグニンスルホン酸化合物と オキシカルボン酸塩	0.2~0.4	黒色液状	1.26~1.30	・減水率12~15% ・ワーカビリティの改善 ・空気連行性
	チューポールEX50	ポリカルボン酸系化合物	0.2~0.5	褐色液状	1.07~1.11	・減水率12~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減
	高機能タイプ チューポールEX60	変性リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.06~1.12	・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減
	高機能タイプ チューポールEX60T	変性リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.02~1.08	・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・ポンプ圧送性の改善 ・コンクリートの粘性低減 ・ブリーディングの低減
	高機能・ブリーディング低減タイプ チューポールEX60LB	ポリカルボン酸系化合物と 特殊エーテル系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.00~1.06	・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減 (10~50%)
	高機能・収縮低減タイプ チューポールLS-A	変性リグニンスルホン酸化合物、 ポリカルボン酸系化合物とポリエーテル誘導体	1.0~2.0	褐色液状	1.00~1.06	・収縮低減効果5~15% ・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減
	高炉スラグ高含有コンクリート用 チューポールEC60	変性リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.05~1.11	・高炉スラグ高含有コンクリート ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性
	高機能・高保持タイプ チューポールEX180	ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.02~1.08	・スランプ保持性の大幅な向上 ・ワーカビリティの改善 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減
遅延形 I種	チューポールNR20	変性リグニンスルホン酸化合物と オキシカルボン酸塩	0.2~0.3	黒色液状	1.26~1.30	・減水率12~15% ・ワーカビリティの改善 ・空気連行性 ・凝結遅延性 ・暑中コンクリート ・マスコンクリート
	チューポールEX50R	ポリカルボン酸系化合物	0.2~0.5	褐色液状	1.11~1.15	・減水率12~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・凝結遅延性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減 ・暑中コンクリート ・マスコンクリート
	高機能タイプ チューポールEX60R	変性リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.06~1.12	・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・凝結遅延性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減 ・暑中コンクリート ・マスコンクリート
	高機能タイプ チューポールEX60TR	変性リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.03~1.09	・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・凝結遅延性 ・ポンプ圧送性の改善 ・コンクリートの粘性低減 ・ブリーディングの低減 ・暑中コンクリート ・マスコンクリート
	高機能・ブリーディング低減タイプ チューポールEX60LBR	ポリカルボン酸系化合物と 特殊エーテル系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.01~1.07	・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・凝結遅延性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減 (10~50%) ・暑中コンクリート ・マスコンクリート
	高機能・収縮低減タイプ チューポールLS-AR	変性リグニンスルホン酸化合物、 ポリカルボン酸系化合物とポリエーテル誘導体	1.0~2.0	褐色液状	1.01~1.07	・収縮低減効果5~15% ・減水率14~16% ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・凝結遅延性 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減 ・暑中コンクリート ・マスコンクリート
	高炉スラグ高含有コンクリート用 チューポールEC60R	変性リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.05~1.11	・高炉スラグ高含有コンクリート ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・暑中コンクリート
	高機能・高保持タイプ チューポールEX180R	ポリカルボン酸系化合物	0.5~2.0	褐色液状	1.03~1.09	・スランプ保持性の大幅な向上 ・ワーカビリティの改善 ・ポンプ圧送性の改善 ・ブリーディングの低減 ・暑中コンクリート ・35℃を超える暑中コンクリート
促進形 I種	チューポールNZ	変性リグニンスルホン酸化合物と 非塩素系特殊無機塩	1.0	黒色液状	1.16~1.20	・減水率12~14% ・凝結促進性 ・非塩素系 ・寒中コンクリート
	高減水タイプ ポールファインSPA-2	ポリカルボン酸系化合物と 非塩素系特殊無機塩	0.7~2.0	褐色液状	1.14~1.18	・減水率12~25% ・スランプ保持性 ・非塩素系 ・コンクリート製品 ・高強度コンクリート
	アクセルエースW	非塩素系特殊無機塩と ポリカルボン酸系化合物	3~5 l / C=100kg	褐色液状	1.38~1.44	・耐寒促進剤(タイプI) ・初期凍害防止 ・凝結促進性 ・非塩素系 ・寒中コンクリート

高性能AE減水剤

種類	品名	主成分	使用量の範囲 (セメント質量に対する%)	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
標準形 I種	チューボールHP-8	ポリカルボン酸系化合物	0.5~3.0	褐色液状	1.05~1.13	・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・流動化の代替え ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート
	チューボールHP-11	ポリカルボン酸系化合物	0.5~4.0	褐色液状	1.03~1.11	・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・流動化の代替え ・高強度コンクリート ・コンクリート製品 ・高流動コンクリート
	チューボールHP-11W	ポリカルボン酸系化合物	0.5~4.0	褐色液状	1.01~1.09	・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・高強度コンクリートの粘性低減 ・高流動コンクリート ・コンクリート製品
	収縮低減タイプ チューボールSR	ポリカルボン酸系化合物と ポリエーテル誘導体	0.7~4.0	褐色液状	1.00~1.08	・収縮低減効果5~25% ・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・流動化の代替え ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート
	増粘剤一液タイプ チューボールHP-70	ポリカルボン酸系化合物と特殊増粘剤	0.8~3.0	褐色液状	1.00~1.08	・高減水性 ・スランプ保持性 ・材料分離抵抗性 ・中・高流動コンクリート
	増粘剤一液タイプ チューボールHP-70B	ポリカルボン酸系化合物と特殊増粘剤	0.8~3.0	褐色液状	1.03~1.11	・高減水性 ・スランプ保持性 ・材料分離抵抗性 ・中・高流動コンクリート
	高炉スラグ高含有コンクリート用 チューボールEC-11	ポリカルボン酸系化合物	0.5~4.0	褐色液状	1.02~1.10	・高炉スラグ高含有コンクリート ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性
遅延形 I種	チューボールHP-8R	ポリカルボン酸系化合物	0.5~3.0	褐色液状	1.06~1.14	・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・流動化の代替え ・凝結遅延性 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート ・暑中コンクリート
	チューボールHP-11R	ポリカルボン酸系化合物	0.5~4.0	褐色液状	1.04~1.12	・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・流動化の代替え ・凝結遅延性 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート ・コンクリート製品 ・暑中コンクリート
	チューボールHP-11WR	ポリカルボン酸系化合物	0.5~4.0	褐色液状	1.02~1.10	・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・凝結遅延性 ・高強度コンクリートの粘性低減 ・高流動コンクリート ・コンクリート製品 ・暑中コンクリート
	収縮低減タイプ チューボールSR-R	ポリカルボン酸系化合物と ポリエーテル誘導体	0.7~4.0	褐色液状	1.01~1.09	・収縮低減効果5~25% ・減水率15~25% ・空気連行性 ・スランプ保持性 ・ワーカビリティの改善 ・単位水量規制対策 ・流動化の代替え ・凝結遅延性 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート ・暑中コンクリート
	増粘剤一液タイプ チューボールHP-70R	ポリカルボン酸系化合物と特殊増粘剤	0.8~3.0	褐色液状	1.01~1.09	・高減水性 ・スランプ保持性 ・材料分離抵抗性 ・中・高流動コンクリート ・暑中コンクリート
	増粘剤一液タイプ チューボールHP-70BR	ポリカルボン酸系化合物と特殊増粘剤	0.8~3.0	褐色液状	1.04~1.12	・高減水性 ・スランプ保持性 ・材料分離抵抗性 ・中・高流動コンクリート ・暑中コンクリート
	高炉スラグ高含有コンクリート用 チューボールEC-11R	ポリカルボン酸系化合物	0.5~4.0	褐色液状	1.04~1.12	・高炉スラグ高含有コンクリート ・ワーカビリティの改善 ・スランプ保持性 ・暑中コンクリート

高性能減水剤

種類	品名	主成分	使用量の範囲 (セメント質量に対する%)	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
I 種	チューポールNV-80	ポリカルボン酸系化合物	0.4~3.0	褐色液状	1.01~1.09	・高減水性 ・初期強度発現性の向上 ・コンクリート製品 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート
	チューポールNV-80E	ポリカルボン酸系化合物	0.4~3.0	褐色液状	1.01~1.09	・高減水性 ・初期強度発現性の向上 ・スランブ保持性 ・コンクリート製品 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート
	黒ずみ防止タイプ チューポールNV-80K	ポリカルボン酸系化合物	0.4~3.0	褐色液状	1.02~1.10	・高減水性 ・初期強度発現性の向上 ・コンクリート製品 ・打肌面の美麗化 ・黒ずみ抑制 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート
	収縮低減タイプ チューポールNV-S	ポリカルボン酸系化合物と ポリエーテル誘導体	0.7~4.0	褐色液状	1.00~1.08	・収縮低減効果5~15% ・高減水性 ・打肌面の美麗化 ・スランブ保持性 ・コンクリート製品 ・高強度コンクリート ・高流動コンクリート
	チューポールSSP-104	ポリカルボン酸系化合物	1.0~6.0	淡黄色~褐色液状	1.05~1.13	・高減水性 ・スランブ保持性 ・コンクリートの粘性低減 ・超高強度コンクリート
	チューポールSSP-104H	ポリカルボン酸系化合物	1.0~6.0	淡褐色~褐色液状	1.04~1.12	・高減水性 ・スランブ保持性 ・コンクリートの粘性低減 ・超高強度コンクリート
	収縮低減タイプ チューポールHSP	ポリカルボン酸系化合物と ポリエーテル誘導体	1.0~6.0	淡褐色~褐色液状	1.02~1.10	・高減水性 ・スランブ保持性 ・コンクリートの粘性低減 ・自己収縮の低減 ・超高強度コンクリート
	ポールファインMF	含窒素型スルホン酸塩	1.0~3.0	褐色液状	1.09~1.17	・高減水性 ・打肌面の美麗化 ・高強度コンクリート ・コンクリート製品

流動化剤

種類	品名	主成分	使用量の範囲 (セメント質量に対する%)	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
標準形 I 種	ハイフルードH	ポリカルボン酸系化合物	0.06~0.12 ※1	褐色液状	1.02~1.08	・現場添加 ・施工性の改善 ・ポリカルボン酸系混和剤を用いたベースコンクリートの流動化
	増粘剤一液タイプ チューポールHF-70	ポリカルボン酸系化合物と特殊増粘剤	0.3~1.5 ※2	褐色液状	1.03~1.09	・現場添加 ・施工性の改善 ・材料分離抵抗性 ・中・高流動コンクリート

※1 スランブを1cm増大させるのに必要な使用量

※2 W/C=40~55%程度、スランブ15~21cmの普通コンクリートから、高流動、中流動コンクリートを得るための標準的な使用量

AE 剤

種 類	品 名	主 成 分	使用量の範囲 (セメント質量に対する%)	外 観	密度 (g/cm ³)	特 長 ・ 用 途
I 種	AE-200	アルキルエーテル型陰イオン界面活性剤	0.0001~0.05	淡黄色液状	1.02~1.06	・空気連行性 ・ワーカビリティの改善 ・凍結融解抵抗性改善
	AE-300	樹脂酸塩系陰イオン界面活性剤	0.0001~0.05	褐色液状	1.03~1.07	・空気連行性 ・ワーカビリティの改善 ・凍結融解抵抗性改善
	AE-400	陰イオン界面活性剤	0.0001~0.05	褐色液状	1.00~1.04	・空気連行性 ・経時に伴うエアロス抑制 ・ワーカビリティの改善 ・凍結融解抵抗性改善
	チューポールD-100	陰イオン界面活性剤	0.001~0.05	淡黄色液状	1.02~1.06	・空気連行性 ・凍結融解抵抗性改善 ・ワーカビリティの改善 ・経時に伴うエアロス抑制
	チューポールFA-10	高級脂肪酸塩と非イオン界面活性剤	0.05~0.5	黄色液状	1.00~1.04	・フライアッシュ用 ・ワーカビリティの改善 ・凍結融解抵抗性改善

収縮低減剤

品 名	主 成 分	使用量の範囲	外 観	密度 (g/cm ³)	特 長 ・ 用 途
ヒビダンB	ポリエーテル誘導体	2~35kg/m ²	淡黄色液状	0.95~1.05	・乾燥収縮5~65%低減 ・高耐久性コンクリート ・打放しコンクリート
ヒビダンHD	アルキレンオキンド重合体	10~30kg/m ³	淡黄色液状	1.04~1.14	・乾燥収縮10~30%低減 ・高耐久性コンクリート ・打放しコンクリート ・凍結融解抵抗性
塗布型 ヒビダンW	ポリエーテル誘導体	80~150g/m ²	淡黄色液状	0.95~1.05	・初期の乾燥収縮低減 ・ひび割れ抑制

その他の混和剤

種 類	品 名	主 成 分	使用量の範囲 (セメント質量に対する%)	外 観	密度 (g/cm ³)	特 長 ・ 用 途
スランブ 保 持 剤	チューポールWK	ポリカルボン酸系化合物	0.15~0.75	褐色液状	1.01~1.09	・スランブ保持性の大幅な向上 ・施工性の改善 ・現場添加 ・JIS A 6204減水剤標準形適合
暑中コンクリート用 スランブ 保 持 剤	チューポールHT	ポリカルボン酸系化合物と特殊遅延性化合物	0.05~0.6	褐色液状	1.05~1.13	・スランブ保持性の大幅な向上 ・施工性の改善 ・凝結遅延性 ・現場添加 ・暑中コンクリート ・35℃を超える暑中コンクリート ・JIS A 6204減水剤遅延形適合
凝結遅延剤	チューポールT-21	糖類とオキシカルボン酸塩	0.1~0.5	褐色液状	1.19~1.25	・超遅延コンクリート ・マスコンクリート ・打継ぎ面の処理 ・洗い出し仕上げ製品 ・暑中コンクリート ・凝結遅延性
即時脱型 製 品 用 混 和 剤	プラセードD	特殊非イオン界面活性剤	0.05~0.2	淡褐色液状	0.99~1.03	・可塑性付与 ・充填性向上 ・肌面美観さの向上 ・即時脱型製品 ・インターロッキングブロック (基層コンクリート)
粉末防水剤	タイトレックスP	高級脂肪酸誘導体と特殊界面活性剤	0.2~1.0	淡褐色粉末	—	・防水コンクリート ・コンクリート製品 ・GRC
水中不分離性 混 和 剤	アクアセッター	特殊水溶性高分子化合物	2.5~3.5kg/m ³	白色粉末	—	・セルフベリング性 ・材料分離抵抗性 ・充填性改善 ・水中不分離性コンクリート
起 泡 剤	エアーセットA	陰イオン界面活性剤	0.15~0.25	淡黄色~褐色液状	1.01~1.05	・エアーモルタル ・エアーコンクリート

2 付着モルタル及びスラッジ水に用いる安定剤

品名	主成分	使用方法	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
TAクリーン	オキシカルボン酸塩	附属書JE「安定化スラッジ水の使用方法」におけるスラッジ固形分の量100kg当たりの安定剤の添加量(L) ■冬 期(15℃未満)：(0.3～1.0)×S ■標準期(15℃～25℃)：S ■夏 期(25℃を超える)：(1.0～1.8)×S 附属書JF「トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用法」における、安定剤希釈液50L当たりの安定剤の添加量(L) ■冬 期(15℃未満)：(0.5～1.0)×S ■標準期(15℃～25℃)：S ■夏 期(25℃を超える)：(1.0～1.5)×S ※安定剤の添加量Sは、1.0を標準として、あらかじめコンクリート試験等によってご確認ください。	淡青色液状	1.10～1.14	・付着モルタルの安定化 ・洗浄水の低減 ・スラッジ水の再利用

3 養生剤

品名	主成分	使用方法	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
ポールケアS	非イオン界面活性剤	ジョウロ等で散布 標準使用量：200g/m ²	無色～乳白色液状	1.01～1.06	・コンクリート打設直後のプラスチック収縮ひび割れ抑制 ・硬化コンクリートの品質確保 ・梁 ・スラブ
ポールケアW	非イオン界面活性剤	ローラー等で塗布 標準使用量：150g/m ²	無色～淡褐色液状	1.01～1.06	・脱型後のコンクリート表面の急激な乾燥抑制 ・柱 ・梁 ・壁 ・スラブ ・硬化コンクリートの初期ひび割れ低減 ・硬化コンクリートの品質確保

4 剥離剤

品名	主成分	使用方法	外観	密度 (g/cm ³)	特長・用途
ポリゾンS	鉱物油	原液のまま塗布 1ℓ当たり15～18㎡	淡黄色液状	0.84～0.94	・スプレータイプ ・製品肌面良好 ・剥離性良好 ・メタルホーム ・合板パネル
ポリゾンM	鉱物油と界面活性剤	メタルホーム：原液のまま塗布 1ℓ当たり15～18㎡ 木質パネル：5倍希釈液を塗布 1ℓ当たり45～54㎡	淡黄色液状	0.87～0.91	・水希釈タイプ ・製品肌面良好 ・剥離性良好 ・メタルホーム ・木質パネル

竹本油脂株式会社

[URL] <https://www.takemoto.co.jp>

[E-mail] chupol@tkc.takemoto.co.jp

本社・研究所

〒443-8611 愛知県蒲郡市港町2-5

TEL.0533-68-2118 FAX.0533-68-1339

東京営業所

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE八丁堀3F

TEL.03-3553-6912 FAX.03-3553-6920

大阪営業所

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル9F

TEL.06-6243-3306 FAX.06-6243-3347

九州営業所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-10 東福第三ビル2F

TEL.092-431-4355 FAX.092-473-8605

販売会社一覧

地区	会社名	郵便番号	住所	電話番号
北海道	竹本技研株式会社 札幌営業所	〒065-0013	北海道札幌市東区北13条東16-1-20 タカオカビル206	011-781-4400
東北	竹本技研株式会社 仙台営業所	〒983-0045	宮城県仙台市宮城野区宮城野1-12-15 松栄宮城野ビル405	022-349-9517
関東	竹本技研株式会社 東京営業所	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE八丁堀3F	03-5117-2450
	竹本技研株式会社 新潟営業所	〒950-3135	新潟県新潟市北区つくし野1-5-23	025-259-7455
中部	竹本技研株式会社 静岡営業所	〒426-0001	静岡県藤枝市仮宿1553	054-643-2211
	竹本技研株式会社 本社・中部営業所	〒443-0034	愛知県蒲郡市港町2-5	0533-33-1050
	竹本商事合同会社	〒460-0006	愛知県名古屋市中区葵1-27-37 染木ビル201	052-935-1651
	明光油剤株式会社	〒923-0034	石川県小松市長田町へ2-1	0761-22-2495
近畿	竹本技研株式会社 大阪営業所	〒541-0054	大阪府大阪市中央区南本町4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル9F	06-6121-5540
中国	竹本技研株式会社 中国営業所	〒720-0077	広島県福山市南本庄2-5-28 ITSビル201	084-928-9590
四国	竹本技研株式会社 四国営業所	〒769-0103	香川県高松市国分寺町福家甲3206-8	087-814-3353
九州	西日本ボール株式会社	〒807-0077	福岡県北九州市八幡西区沖田1-14-1	093-612-9752
	西日本ボール株式会社 佐賀出張所	〒849-2204	佐賀県武雄市北方町大字大崎4357-1	0954-36-4762
	西日本ボール株式会社 大分出張所	〒870-0113	大分県大分市大字家島788	097-523-0378
	福岡チューボール株式会社	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6 第3博多偕成ビル702	092-431-4066
	福岡チューボール株式会社 鹿児島営業所	〒891-1301	鹿児島県鹿児島市西佐多町967-1	099-295-1144
沖縄	株式会社スケヨシ	〒901-1104	沖縄県島尻郡南風原町字宮平51	098-889-2055

販売会社

●このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。
●ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保證するものではありません。

24.02.1000.TOYO